

あつまる つながる まとまる 大いなる田園のまち あつま



広報あつま

ATSUMA TOWN PUBLIC RELATIONS

2026
10
NO.890



ひとのうごき

人 □ 4,242人 (-2)
男 2,166人 女 2,076人

世帯数 2,195世帯 (+5)

9月30日現在 ()内は前月比

- 2 ひとのうごき
- 3 環境保全林拠点施設
- 4 北海道胆振東部地震厚真町追悼式
- 5 町からのお知らせ
- 6-8 まちの話題
- 9 防災のページ
令和8年厚真町総合防災訓練
- 10-11 令和8年第3回定例会
- 12 厚高インフォ／よりみち通信
- 13 地域おこし協力隊／将来の夢
- 14-15 保健の掲示板
- 16 健康情報
まちのアイドル
- 17 子育て支援センター
こども園園児募集
- 18 住宅用火災警報器を設置しましょう
IPPOカフェ
いきいきサポートサロン
- 19 情報ひろば
- 20 ATSUMA LOVERS

9月1日～9月30日届出分

※窓口などで、広報紙への掲載について確認できた方を掲載しています。

厚真町公式SNS



お知らせや最新情報を発信しています！

広報あつまはインターネットでも！



厚真町ホームページ

トップページ下部のバナーから

広報あつま

Hokkaido ebooks

エリアで探す→胆振→厚真町



厚真の森をもっと身近で楽しい場所へ

環境保全林に拠点施設を整備します

厚真町は約7割が森林で、開拓期よりさまざまな面で人々の暮らしを支えてきましたが、産業の発展や生活様式の変化、さらに平成30年の胆振東部地震での被害もあり、近年は、人と森の距離が遠くなっています。森を「再び行きたい・居たい場所」にすることは、これからの厚真町での暮らしをより豊かで楽しいものにしてくれる可能性があります。町は、改めて森と人との豊かな関係性の創出を目指し、環境保全林の活用などさまざまな取り組みを進めていきます。

環境保全林位置図



拠点施設のイメージ



森に馴染む木造平屋建ての施設は、広めのリビングを中心にキッチンや多機能トイレ、授乳室、さらに土間で利用できる土間を配置。

厚真町には2カ所の「環境保全林」があります。そのうち豊沢地区(新町・豊沢・宇隆)の環境保全林約280haは一塊で立地し、市街地からも近く平坦な地形から人が利用しやすいのが特徴です。これまで町では、散策路の整備や植物観察会といったイベント等を通して森を楽しむ機会を提供してきました。しかし、長年にわたる自然のまま生育を続けた森のため、樹木の密度が高

く暗い場所が多いこともあり、「イベント以外では入りにくい」という意見も寄せられていました。そのため、ゆつくりと間伐を進めるとともに、継続的なイベント等を創出することに加え、森林内に拠点施設を建設することで、さまざまな人が安心して森を訪ねることができる環境を整備することになりました。

木造平屋建ての施設は、子育て世代から年配の方まで、快適に利用できるように設計され、森でのワークショップや研修会、子ども向けの自然体験イベントの開催など、多様な用途での活用が期待されます。拠点施設は令和8年度中に完成、令和9年度に供用を開始する予定です。

拠点施設の完成前には内覧会を開催し建設状況をご案内する予定です。また、宇隆展望台への散策会やホーストレッキングなどの企画も予定されています。日程は随時お知らせしますのでぜひご参加ください。



COVER

今月の表紙



第23回集まりンピックが8月30日、かしわ公園野球場で開かれ、ムカデ競争や借り人競争など12競技で町民パワーが弾けました。自治会や職場など368人が参加しました。大会を飾ったのは、混合年代別リレーです。慎重にバトンをつないでトラックを駆け抜ける選手たちに、客席から熱い声援が飛び交いました。

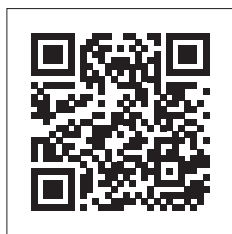
町からのお知らせ

厚真町で暮らす・働く女性の「これから」に関するアンケート

まちづくり推進課 政策推進グループ
☎ 27-3179

町は、女性一人ひとりが自分らしく挑戦でき、生き生き暮らせる環境づくりを進めています。

皆さんの率直な意見などを把握し、今後の施策に活かすため、暮らしや仕事、これからの働き方についてリアルな声や考えをお聞かせください。



アンケート専用フォーム
スマートフォンなどから
アクセスして回答してください。

対 象

厚真町内に居住または勤務する18歳以上の女性

回答方法

専用フォーム (Google フォーム)
※所要時間は5分程度です

回答期限

11月30日(月)

個人情報について

この回答では個人情報を収集しません。収集した情報は、今後のまちづくりにかかわる事業の検討に使用します。

自分らしく働くための連続講座

まちづくり推進課 政策推進グループ
☎ 27-3179

モヤモヤを解消して、暮らしに寄り添う“次の一步”を見つけませんか？

内 容

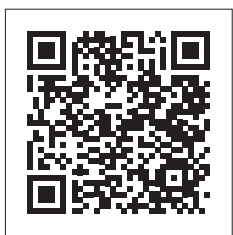
「自分らしく働き 日々を楽しむための仲間づくり」をテーマにした全3回の講座です。一人で悩むのではなく、同じ気持ちを持つ仲間とおしゃべりしながら自分の気持ちや得意なことを整理し、無理のない「次の一步」を見つける温かいワークショップです。境遇を分かち合いながら、自分のペースで暮らしと働くことを両立させるコツを一緒に考えます。

こんな方にお勧めです

- ・暮らしや子育てを大切にしながら、自分らしく何かを始めてみたい。
- ・やりたい気持ちはあるけれど、何から手をつければいいのか分からない…。
- ・暮らしや子育てと働くことを両立したい。
- ・地域おこし協力隊や転勤族の配偶者・移住者の方など。男性も柔軟に受け付けます。

申し込み

町ホームページから
お申し込みください



第1回 10月21日(水) 13時～15時：総合福祉センター

テーマ 「好き・得意」をカタチに！自分の「やりたい」を棚卸し
自分の経験や好きなことを書き出し、参加者同士で話し合いながら「私らしさ」や小さな強みを再発見します。

第2回 日時未定

テーマ 暮らしに寄り添うお金と働き方～扶養の範囲とバランス～
「扶養の範囲内でどう働く？」「家庭と両立できるステップは？」など、ライフスタイルに合わせた無理のないお金の捉え方や働き方を学びます。

第3回 日時未定

テーマ みんなで一步を踏み出そう！仲間とつくる小さな挑戦
イベント(マルシェ)への出展や小さな発表など、具体的な「次の一步」をイメージ。不安なことも仲間とアイデアを出し合って解消します。

北海道胆振東部地震 厚真町追悼式



北海道胆振東部地震から8年を迎えるにあたり、町総合福祉センターで9月5日に厚真町追悼式が執り行われました。白菊や白百合などで飾られた祭壇の前に、参列者140人は、犠牲になられた37人をしのんで黙とうをささげて献花し、「将来像を共有し、一丸となつて歩みを進める」ことを誓いました。

追悼式には、ご遺族や北海道知事、国会議員、道議会議員、関係機関など来賓が参列。祭壇に黙とうしました。宮坂町長の式辞に続き、鈴木知事や国会議員2人、道議会議員、渡部町議会議長が追悼の辞を述べました。引き続き、ご遺族から順番に祭壇へ献花を手向け、犠牲者を悼みました。

また、地震の発生日となった9月6日の正午には、つたえり公園の慰霊碑前で黙とうがささげられました。一般参列者1人を含め、町長、副町長、教育長、町議会議長と町管理職員23人が、正午のサイレンを合図にそつと目を閉じて犠牲者に思いを寄せ、献花台に花を手向けました。

さらに、町長、副町長、教育長、町議会議長の4人は、吉野地区の献花台を訪問。宮坂町長は「全国から寄せられたご支援に改めて感謝いたします。お亡くなりになられた方々、ご遺族の方々に改めてお悔みとお見舞いを申し上げます。未来が見通せない状況の中で、これまで頑張っていたいただき感謝したい」と取材陣に語りました。

厚真町 宮坂尚市朗町長



皆さまから託された「ふるさとあつま」と、救われた命の尊さを胸に、私たちは、やすきに流されることなく、誠実に歩み続けます。「ともに育ち、ともに挑む」という姿勢のもと、町民の皆さまと心をつにし、誰一人として取り残さない、100年先も安心して暮らし続けられる、誇りある厚真町を築いていくことをここに固くお誓い申し上げます。

北海道 鈴木直道知事



皆さまのこれまでのご努力に深く敬意を表しますと共に、道といたしましては引き続き厚真町における復興に向けた取り組みをしっかりとお支えし、その震災の記憶を風化させず未来への教訓としながら町と連携し、森林の再生や被災された方の心のケアなどの長い時間を要する取り組みへの必要な支援に努めてまいります。

厚真町議会 渡部孝樹議長



この災害で失われた尊い命を決して忘れることなく、犠牲になられた方々のご意志に報いるためにも、この災害での記憶と教訓を次の世代へとしっかりとつなぎ育て、まちの魅力を高め、豊かさを作り、町民の皆さまの命、暮らしを守る努力を着実に進めていかなければなりません。それこそが、私たちに託された責任であると考えております。



委嘱状の交付を受けた亀井さん

地域活性化起業人の亀井聡さんに委嘱状を交付

町は8月24日、地域活性化起業人の亀井聡さんに委嘱状を交付しました。

亀井さんは、設計会社で大規模複合建築の設計を行う傍ら、より複雑な社会課題の解決を目指すプロジェクトに取り組んでいます。町内では、ゼロカーボン推進支援や無駄や浪費をなくしてごみゼロを目標に行動するゼロ・ウェイスト支援、遊休施設の民間活用支援などを行う予定です。委嘱状を受けた亀井さんは「しっかりと構想をまとめてがんばります」と力強く応えました。

町と(株)さとゆめ、(株)クーバル、(株)のやすべの民間3社共同出資によるまちづくり会社「(株)つぎて」の創立総会と合意文書署名式が8月25日、総合福祉センターで行われ、新会社が創立しました。町が進める「二地域居住」の取り組みが加速します。

新会社の本拠地は、上厚真シェアサテライトオフィス内です。創立には、地域事業の立ち上げや運営を行っている伴走型のプロデュース会社(株)さとゆめ、町内でまちなか交流館の就労支援施設やホテル運営などに取り組む(株)クーバル、町内で農業生産現場に携わりながら地域活性化に取り組む(株)のやすべ、町がタッグを組みました。

創立総会では、(株)さとゆめの嶋田俊平代表取締役がまちづくり会社の代表取締役に、(株)クーバルの井上善博代表取締役会長と(株)のやすべの吉岡博和代表取締役が取締役に選任されました。新会社は今後、町内のマルチハビテーション住宅などの管理のほか、二地域居住の受け入れ態勢を拡充。来訪者の満足度をさらに高めながら町内での「活躍人口」を増やし、二地域居住政策の充実を図ります。嶋田社長は「厚真には、人が人を呼び好循環という強みがある。地域の方と一緒に思いをつなげてまちの未来を作りたい」と抱負を語りました。

町と民間企業の共同出資によるまちづくり会社「つぎて」創立



署名を終えた左から井上さん、宮坂町長、嶋田さん、吉岡さん



救命索発射銃を使って訓練する
浜厚真救難所の所員

浜厚真漁港で夏季海難救助訓練行

浜厚真救難所(木戸嘉則所長)で8月28日、夏季水難救助訓練が行われ、消防や苫小牧海上保安署、公益社団法人北海道海難防止・水難救済センターの職員が見守る中、所員10人は機敏な動作で人命救助の手順を確認しました。

訓練では、自力での救助や接近が難しい場合に使う「救命索発射銃」で約80m沖合の目標にロープをつないだ弾頭を正確に発射したほか、胸骨圧迫などの心肺蘇生法を学びました。木戸所長は「いつでも出動する使命があり、切磋琢磨したい」と話しました。

新町の加藤ミツ子さんに百寿の祝い品贈る

町は8月13日、新町の加藤ミツ子さんに百寿の祝い品を贈りました。

現大空町出身の加藤さんは、7人兄弟の三女で、結婚して子ども3人を育てました。手先が器用で、夫の故・恒雄さんと営んでいた自転車店では、パンクなどの修理も手伝っていました。裁縫が得意で、古着のリメイクなどを楽しんでいました。平成6年から豊厚園で暮らしています。

この日は、加藤さんの家族が同席する中、町長から祝い品を受け取った加藤さんは笑顔を浮かべながら何度も「ありがとうございます」と頭を下げて喜びました。



家族と一緒に記念写真の撮影に応える加藤さん

令和8年度厚真町戦没者追悼式



謝辞を述べる厚真町遺族会の藤井会長

令和8年度厚真町戦没者追悼式が8月21日に総合福祉センターで行われ、ご遺族や関係者約40人は恒久平和を誓い、戦禍で犠牲になられた114人を悼みました。

白菊で飾られた祭壇を前に、宮坂町長は「平和を求める努力を不断に継続し、町民の命と暮らしを守り通します」と式辞を述べ、胆振総合振興局保健環境部の小助川文治課長が道知事の追悼の辞を代読。渡部議長と一般財団法人北海道連合遺族会が「戦争の悲惨さと平和の尊さを風化させることなく次代へと語り継ぐことが、私たちに課せられた使命です」と追悼の辞を述べました。厚真町遺族会の藤井隆之会長は「戦争体験や地域の記憶を次の世代へ語り継ぐことは、遺族のみならず今を生きる私たち一人ひとりの責務です。戦争の悲惨さを風化させることなく、恒久平和の実現に向け努力します」と謝辞を述べました。

第4回ならやまマルシェを開催

住民同士が親睦を深める「第4回ならやまマルシェ」(住民団体あつまるカフェならやま主催)が8月22日、厚北地域防災コミュニティセンターならやまで開かれ、参加者は物販などを通じて大勢の来場者と触れ合いました。

会場入り口では風船で飾られた手作りの旗がたなびき、建物の壁面には、「ようこそ厚真へ ならやまマルシェ」の文字が飾られました。キッチンカーのほか簡易テントが並び、とれたて野菜や手工芸品などの販売と、フィンランドの伝統的な幾何学模様の装飾品「ヒンメリ」や足湯の体験コーナーも設けられました。また、厚真郷芸保存会のメンバーが真夏日の暑さに耐えながら勇壮な5曲を披露し、来場者の心を動かしました。



炎天下の中で演奏を披露した
厚真郷芸保存会の皆さん

レベル5大雨特別警報が発表されたときに取るべき行動

レベル5大雨特別警報は、災害が発生・切迫していることを示す警報です。8月13日に千葉県で線状降水帯が発生し、レベル5大雨特別警報が発表されて多数の車が浸水被害に遭いました。

レベル5大雨特別警報が発表された場合、すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です。むやみに外出せず、今いる場所よりも安全な場所へ移動して身の安全を確保してください。

- 浸水した場所での車移動は危険です。立ち往生し水没する恐れがあります。
- 河川・用水路・冠水した箇所へは絶対に近づかないでください。
- 町が発令する避難指示等で必ず避難してください。
- レベル5大雨特別警報が発表される前段階から最新の気象・避難情報を確認してください。
- 浸水リスクをハザードマップで確認してください。



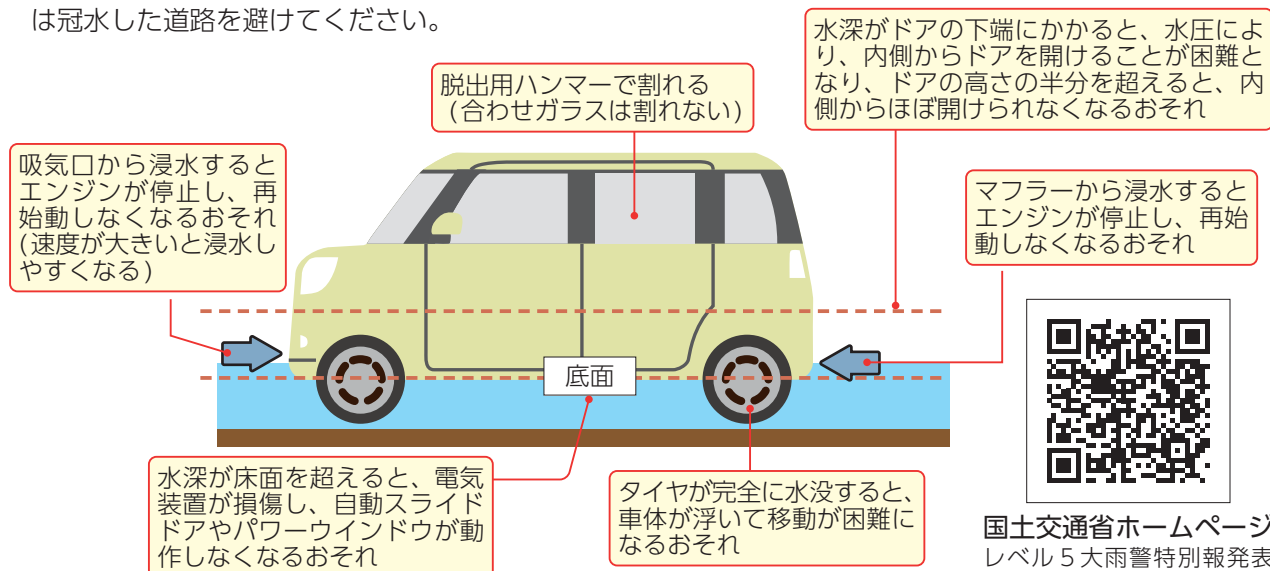
国土交通省ホームページ
レベル5大雨警報発表時にとるべき行動

車の運転に関する注意点

浸水が懸念されるときは、車での移動を控えてください。冠水した道路への進入は、生命への危険があります。徒歩または早めの避難を心がけ、やむを得ず車を使う場合は冠水した道路を避けてください。

○30cm程度の冠水でも、車両が走行できなくなる場合があります。

○エンジンが停止し、水圧で窓やドアが開かなくなります。



令和8年度 厚真町 総合防災訓練

避難所開設訓練を実施して、一連の手順を確認・理解します。また、自衛隊大型車両の体験試乗や防災講話、関連企業等のブースの開設、アルファ米の調理体験・試食などを検討中です。

日時 11月7日(土) 10時～13時
場所 スポーツセンター・あつまスタードーム
詳細は、別途チラシ等でお知らせします。



町と北海道大学が防災等に関する連携協定を締結

町と北海道大学広域複合災害研究センター(佐々木貴信センター長)は8月31日、総合福祉センターで広域複合災害に関する連携協定を結びました。

町と同センターは、平成31年4月のセンター開設以降、防災・減災に関する意見交換等を実施してきました。令和元年10月には防災シンポジウムと現地見学会を共同開催し、住民への啓発活動なども実施しています。今後、町およびその周辺地域で広域複合災害の被害軽減に関する研究活動や住民への啓発活動を円滑に実施するため、連携協定を結ぶことになりました。

同センターが実施する研究集会や講義、研究プロジェクトに町が参画するほか、町が実施する防災関連施策への同センターの助言、防災・減災に関する人材育成や研究上の意見交換、住民に対する防災啓発活動などを行う予定です。



協定書を手にした宮坂町長と佐々木センター長

地域おこし協力隊・農業支援員夫婦2人に委嘱状を交付

町は9月1日、長山将太さんと妻の桃子さんに地域おこし協力隊・農業支援員の委嘱状を交付しました。

農業支援員で夫婦1組2人に委嘱状を交付するのは初めてです。将太さんは、デジタル家電専門店や教育ITベンチャー企業、医療・介護求人サービス業などを経験、桃子さんは教育ITベンチャー企業や医療法人で働いていました。「子どもたちと過ごせる時間を増やしたい」と2人の思いが重なり、イチゴ農家を目指して農家への転職を決意しました。委嘱を受けた2人は「夫婦で力を合わせ、地域に溶け込みながらしっかりと学びます」と決意を語りました。



意欲を燃やす長山将太さんと妻桃子さん

鵠川漁協厚真支所のホッキ部会が ホッキ貝寄贈

鵠川漁業協同組合厚真支所のホッキ部会(西館純之部会長)は9月3日、浜厚真漁港で前浜産のホッキ貝約230kg(殻付き)を町教育委員会に寄贈しました。

学校給食で旬の味覚を楽しんでもらおうと、平成22年からプレゼントしていて、子どもたちも心待ちにしています。西館部会長は「今年のホッキ貝も甘みがあっておいしいので、味わって食べてください」と話しました。

水槽で保管されたホッキ貝は、下処理して9月9日にホッキカレーに調理され、こども園2園をはじめ小・中・高校に給食で振る舞われました。



遠藤教育長にホッキ貝を贈る西館部会長



令和8年第3回定例会

令和8年第3回町議会定例会が9月10日に開催されました。審議されたのは、令和8年度厚真町一般会計補正予算など議案6件、報告6件、承認1件、同意2件、認定6件、意見書案1件が審議され、いずれも原案どおり可決・承認されました。また、認定6件は決算特別委員会に付託され、閉会中に継続審査されます。

同意

- ◇厚真町教育委員会委員の任命
厚真町教育委員会委員に長門茂明氏（鹿沼）を任命することが同意されました。
- ◇自治功労賞表彰
現厚真町議会副議長で監査委員を歴任し、厚真町社会福祉協議会会長である吉岡茂樹氏（豊丘）の自治功労賞表彰が同意されました。

議案

- ◇地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
- ◇字の区域の変更
- ◇財産の取得
- ◇令和8年度厚真町一般会計補正予算（第6号）
令和8年度厚真町一般会計補正予算（第6号）は、歳入歳出の総額にそれぞれ1億5825万3千円を追加し、歳入歳出の総額はそれぞれ150億7555万5千円となりました。
- ・役場庁舎整備事業
：7477万9千円
庁舎周辺等整備事業において、支障となる建物及び再編整備の対象となる公共施設（旧母子健康センター、民有建物（事務所））の解体を行う。
- また、役場庁舎及び文化交流施設整備事業用地として民有地を取得するとともに、地権者に対する移転補償を行い、事業の適正な実施を図る。

- ことを目的とする。
- ・エゾシカ被害防止対策事業：160万円
- ・物価高騰経済対策事業：4449万8千円
- ・一般管理事業：698万4千円
- ・津波防災地域づくり推進事業：1496万円
- ・青少年センター解体事業：4400万円
- ・道路橋梁災害復旧事業：単独災、800万円
- ・河川災害復旧事業：単独災、1600万円

- ◇令和8年度厚真町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- ◇令和8年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（保険事業勘定補正予算（第1号））

承認

- ◇専決処分の承認（令和8年度厚真町一般会計補正予算（第5号））

報告

- ◇所管事務調査報告（各常任委員会）
- ◇財政援助団体等に関する監査の結果報告
- ◇定期監査の結果報告
- ◇現金出納例月検査の結果報告
- ◇教育委員会の事務事業の点検・評価報告
- ◇令和7年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率

認定

- ◇令和7年度厚真町一般会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和7年度厚真町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和7年度厚真町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和7年度厚真町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和7年度厚真町簡易水道事業会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和7年度厚真町下水道事業会計歳入歳出決算の認定
- 意見書
- ◇国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

一般質問

折坂泰宏議員、橋本豊議員、澤口千里議員、伊藤富志夫議員、菅原文子議員、寺坂康生議員の6人が一般質問に立ちました。

折坂議員はSNS利用の教育指導について、橋本議員はパークゴルフ場の建設計画と維持管理について、澤口議員は高齢者が安心して暮らし続けられるまちづくりと厚真町らしさを活かしたまちづくりとシティブロモーションについて、伊藤議員は介護保険事業計画の第9期から第10期への策定と国保について、菅原議員は関係人口の創出・拡大について、寺坂議員は人工透析患者に対する今後の支援について、それぞれ質問しました。

行政報告

○農作物の生育状況について

【水稻】胆振農業改良普及センター東胆振支所の調査によると、水稻の生育は8月15日時点で平年より1日早く、過去3カ年の高温年よりも遅い生育となっています。1㎡あたりの茎数は平年比100%、不稔率は「ななつばし」で3・5%と低い値ですが、出穂期間が低温・寡照で推移したため、穂揃いの悪化などによる品質の低下が懸念されます。農林水産省の発表では、今年の北海道産水稻の10アールあたり収量は、平均比・前年比ともに「やや上回る」と予測されています。

【秋まき小麦】収穫は平年並みに始まりましたが、7月下旬の降雨により、収穫終わりは平年より3日遅い8月1日となりました。日照時間が多く実入りも良く、粗麦重量は平年を上回る見込みです。収量は近年の大豊作には及ばないものの平年並みを確保する見通しで、等級麦比率は秋小麦・春小麦ともに約87%を見込んでいます。

【馬鈴しょ】順調に収穫が進み、1株あたりのイモ数は平年並み、でん粉含量はやや低い状況です。

【大豆・小豆・てん菜】大豆・小豆は7月上旬から中旬の曇天により生育が停滞気味です。てん菜はおおむね平年並みの生育で、目立った病害虫も発生していません。

【牧草】平年並みの収量と品質を

確保しています。

【飼料用とうもろこし】平年並みに登熟が進んでいます。

【そ菜園芸】ほうれん草は7月の日照不足による生育障害で製品率が低下していますが、9月以降の回復が期待されます。カボチャは着果数が少なく小玉傾向、ブロッコリーは病害も少なく製品率は良好です。花きは日照不足の影響もありましたが、おおむね順調に生育し、お盆需要に合わせた出荷ができています。ハスカップは開花期が早く着果不良により減収となりましたが、収穫期は気候に恵まれ収穫ロスは少なく推移しました。

本年は、生育期間中に低温・寡照の時期があり、大雨による被害もありましたが、全体としてはおおむね平年並みの生育で推移しています。令和8年産米の価格は下落傾向と見込まれていますが、コスト指標で示された生産費に見合った販売価格の確保や、安定生産に向けて、関係機関と連携します。また、収穫作業の最盛期を迎えるにあたり、農作業事故の防止を呼びかけてまいります。

○8月の大雨による被害について

次に、令和8年8月25日および8月27日から28日にかけての大雨への対応状況および公共施設等の被害状況についてご報告申しあげます。

8月25日は、前日からの寒冷前線の通過と低気圧の発達により大気が不安定な状態となりました。チケツペ川および厚真川上流での増水が見

込まれたことにより、12時27分にレベル3大雨警報が発表されました。町は第1種非常配備体制を敷き、河川を中心にパトロールを実施しました。16時48分にはレベル3大雨警報が解除されたことにより、第1種非常配備の体制を解除しました。

アメダスの観測によれば、25日0時から24時までの合計降水量は88・5ミリ、最大1時間の降水量は50・5ミリでした。

8月27日には、低気圧を含む気圧の谷が北海道付近を通過することにより大気が不安定な状態となりました。27日18時から28日18時の降水量は100ミリと予報されたことから、21時に北部地域を対象に「厚北地域防災コミュニティセンターならやま」を自主避難所として開設しました。23時6分にはレベル3大雨警報が発表され、第1種非常配備体制へ移行しましたが、激しい雷雨のため職員の参集は行わず自宅待機として対応しました。1時26分には、レベル3大雨警報が解除されたことにより、第1種非常配備の体制を解除し、避難者がいなかったため2時30分に自主避難所を閉鎖しました。

アメダスの観測によれば、27日18時から28日18時までの合計降水量は51・5ミリ、最大1時間の降水量は40ミリでした。この期間では、レベル3土砂災害警報は発表されておりません。

続いて、被害状況について速報値をご報告申しあげます。現時点では

人的被害および住家被害は確認されておりません。町内の公共施設については、道路が6路線7箇所、河川が14河川15箇所の被害がありました。

災害公営住宅では、新町のぞみ団地D棟1戸、E棟3戸及び本郷さずな団地A棟1戸、B棟1戸の計6戸において、地下水の上昇により床下ピットに水が侵入する事案を確認しました。その中でも、特に水量が多かった新町のぞみ団地E棟2戸については、直ちに水抜き作業を実施し、8月28日に完了しています。

農作物の浸水・冠水は12ヘクタール（水稻2ヘクタール、馬鈴しょ等10ヘクタール）と見込んでいます。農業施設は調査中ですが、法面崩壊等16件、用排水路等21件、農道3件の被害を確認しています。

林道については、6路線が崩土、路面洗堀などの被害により通行不可となっております。修繕作業を継続実施しています。治山施設においても高丘地区の流末施設の一部が土砂で閉塞していましたが、除去作業を実施しています。

収穫期を前に、このたびの大雨により被災されました生産者の皆さまには、心よりお見舞い申しあげますとともに、関係機関との連携を密にし、迅速に災害復旧事業に取り組んでまいります。

地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します！

現在活動している協力隊〈9月末現在〉

農業▷9人 漁業▷1人 研究型▷1人 起業型▷10人
教育魅力化▷2人 協働型▷3人 スポーツ▷1人

協働型農業支援員

さとう ゆういち
佐藤 優一さん

着任：令和8年4月(1年目)
出身：札幌市



—これまでの経歴について教えてください。

高校を卒業後、陸上自衛隊で3年間勤務しました。1年ほど建設機械のレンタル会社で重機の整備を担当した後、航空自衛隊で13年働きました。航空自衛隊では、主に航空機と地上をつなぐ通信用無線機器の整備を担いました。定年後も見据えて自分の手で長く続けられるスキルを身につけ、地域に貢献できる仕事をしたいという思いが強くなっていきました。

—なぜ農業法人(株)S F Nに入社したのですか？

将来的に独立や個人事業を目指した新しいビジネスを調べている中で、ドローン技術の可能性に着目したのが始まりです。高齢化や気候変動で負担が増す農業現場で、「農業用ドローン」による農薬散布などの需要が高まっていることを知りました。全く知識のない状態から始めるより、実際の農家さんの元で農業とドローンの実務を同時に学びたいと考えました。札幌で開催された農業フェアの厚真町のブースで、現受け入れ先の農家さん

を紹介していただき、ほ場見学を経て、地域おこし協力隊として着任することを決めました。

—どのような会社ですか？会社での役割は？

米や小麦、大豆などを生産する農業法人で、農作業全般に取り組みながら、農業用ドローンを用いた農薬散布の実践と技術習得を担っています。自衛隊時代は空調の効いた室内での精密機械整備やデスクワークが中心だったため、一日中屋外で汗を流す今の仕事は、体力的に非常にハードですが、一から作物を育てる面白さや達成感があり、ストレスなく充実した毎日を送っています。

—今後の目標を教えてください。

まずは3年間を通じて、親方や地域の先輩から一人前の米農家としての技術をしっかりと学ぶことです。将来的には、(株)S F Nの新規事業として農業用ドローンによる農薬散布の受託サービスを立ち上げ、人手不足に悩む近隣の農家さんをサポートしていきたいです。また、S N Sなどを通じて厚真町の農業の魅力や日常を発信し、次世代や子どもたちが憧れるような持続可能な農業の形をこのまちで作っていきたくと考えています。

厚真町は、町民や移住を考えている人などのチャレンジをみんなで応援しているまちを目指します。「厚真町チャレンジ応援通信」は、さまざまなチャレンジの情報を発信していきます。



■高文連支部美術大会
(8月20日～21日)
苫小牧市文化交流センターで、高文連支部美術大会が行われ、本校から生徒4人が参加しました。6月から準備に取り掛かり、夏休みには、学校運営協議会委員の加藤恵子さんから熱心に指導していただきました。中野心睦さんが優秀賞、川崎汐音さんが奨励賞を受賞し、10月に釧路市で開かれる全道大会への出場が決まりました。



■厚真町教育委員会の山中卓也さんに企画段階から参加していただき、鶴川漁業協同組合厚真支所の協力のもとで実現しました。この事業は、本校の教育活動の充実と地域に根ざした特色ある取り組みの一環として、地元の基幹産業の一つである漁業について、1年生全員が体験を通じてより深く学んでもらおうと、初めて漁業体験を取り入れました。1学年担任、生徒17人と、コーディネーターの山中さん、公営塾スタッフ2人も同行し、漁業の楽しさや大変さを肌で感じた充実した行事となりました。

■漁業体験(9月10日)

厚真町教育委員会の山中卓也さんに企画段階から参加していただき、鶴川漁業協同組合厚真支所の協力のもとで実現しました。この事業は、本校の教育活動の充実と地域に根ざした特色ある取り組みの一環として、地元の基幹産業の一つである漁業について、1年生全員が体験を通じてより深く学んでもらおうと、初めて漁業体験を取り入れました。1学年担任、生徒17人と、コーディネーターの山中さん、公営塾スタッフ2人も同行し、漁業の楽しさや大変さを肌で感じた充実した行事となりました。

■インターハイ出場選手が町長を表敬訪問(8月21日)

佐藤校長が引率して8月21日、第79回全国高等学校陸上競技対校選手権大会(7月30日～8月5日、滋賀県彦根市)に出場した大垣尊良さん、中島花奏さん、赤崎蓮さん、大垣成示さんと、全国高等学校総合体育大会水泳競技(8月13日～16日、滋賀県草津市)に出場した伊藤慶翔さんが、宮坂町長に結果を報告し抱負を述べました。大垣尊良さんは、円盤投げと砲丸投げの2種目で全国優勝。砲丸投げは、昨年に続き2連覇です。宮坂町長は「大舞台で頑張ってくれました。皆さんの活躍に町を代表して感謝します」と活躍をたたえました。



厚高インフォ

Vol.322

学校の取り組みはホームページでも！



■全校で黙とうささげる(9月6日)

8年前の9月6日に胆振東部地震が発生し、厚真町は最大震度7を観測。道内では、関連死を含め44人が犠牲になりました。厚真町追悼式が行われることを伝え、全校で「黙祷」をささげました。生徒には、改めて自分の命を守る行動を伝えました。9月1日には、全道一斉の「シェイクアウト訓練」にも参加しました。

よりみち通信



「よりみち学舎」は厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し挑戦する公営塾です。

勉強する意味とは

9月3日から8日まで、厚高では前期期末考査が行われ、よりみち学舎では考査に向けて生徒とテスト対策を行いました。学習支援では、たびたび生徒から「こんな知識、将来絶対に使わない！」と声が上がって『勉強』の意味を問われます。そんな時、私は2つの軸で勉強の意味を捉えていることを意識して話します。

1つは、本当にやりたいことを実現するのに、必ず付随する「やりたくないことをこなすトレーニング」として捉え、その知識が将来有用かどうかに関わらず取り組むこと自体に意味があるという考え方。もう1つは、「知識が経験と結びつき体系化されることで知恵となる」下地を作るという考え方です。今回の学習支援では、知識が経験に結びつく場面に立ち会うことができました。

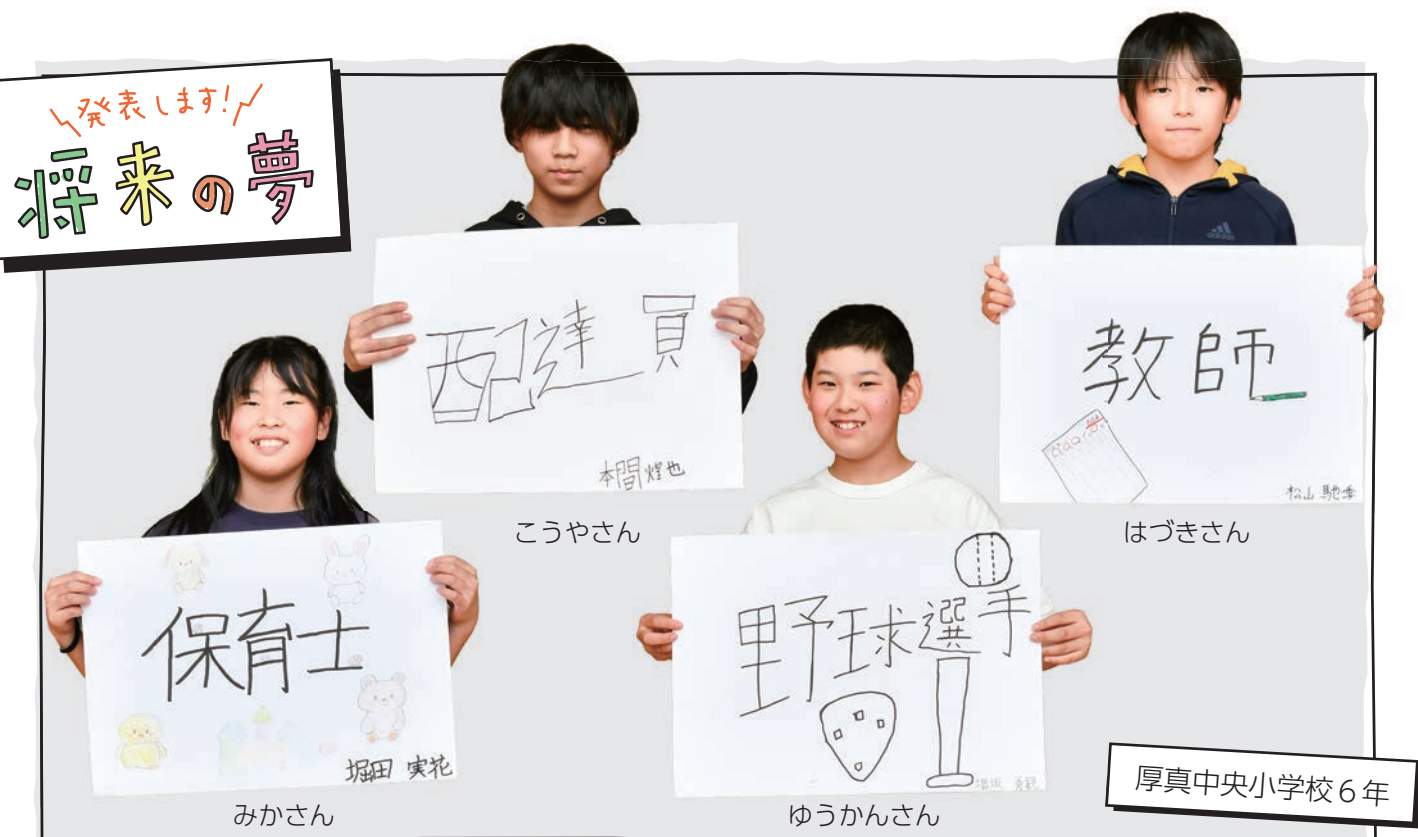
それは、社会科の宗教の分野を勉強している時です。ある生徒はお盆にお参りしたお寺の内装が、宗派の教えに結びついていることに気がきました。また、別の生徒は、幼いころに好きだったおもちゃたちが、意思を持って活躍する映画が、アニミズム(自然崇拜)や付喪神信仰から着想を得ていることに気が付き、自分の物持ちの良さという人格にすら影響していることに驚いていました。

そして、今後もこういった場面に多く立ち会えるよう学習支援とともに生徒にさまざまな経験を提供したいと考えています。

教育魅力化支援員 山中恵杜



漁業体験を終えた1年生



厚真中央小学校6年



こどもの予防接種

接 種 日	未 就 学 児	水 曜 日	14時～15時 (この時間は一般診療休み)	予防接種 専用サイト 
	小 学 生 ～19歳	月・金 曜 日	9時～12時、14時～17時	
		水 曜 日	9時～12時、15時～17時	
予 約 / 受 付 接 種 場 所	あつまクリニック ☎ 27-2422 京町15 前の週の金曜日までに予約が必要です (予約受付時間: 9時～12時、15時～17時)			
持 ち 物	母子健康手帳、予診票			

予約時は、予防接種専用サイトで接種対象であるかどうかを確認してください。専用サイトと母子健康手帳の接種履歴に相違がある場合などは、住民課健康推進グループ (保健師) までご連絡ください。

	対象者	標準的な接種期間と回数
ロタウイルス (1価)	生後6～24週未満	27日以上あけて2回 ※1回目は14週6日までに接種
B型肝炎	生後2カ月～1歳未満	(初回) 27日以上あけて2回 (追加) 1回目終了後から20週以上あけて1回
ヒブ (※1)	生後2～60カ月未満	(初回) 生後2～7カ月未満 (27日以上あけて3回) (追加) 初回後7～13カ月あけて1回
小児肺炎球菌	生後2～60カ月未満	(初回) 生後2～7カ月未満 (27日以上あけて3回) (追加) 生後12～15カ月未満 (初回後60日以上あけて1回)
五種混合 (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ・ヒブ)	生後2～90カ月未満	(初回) 生後2～7カ月未満に、20～56日あけて3回 (追加) 初回6～18カ月あけて1回
二種混合 (ジフテリア・破傷風)	11～13歳未満	11歳で1回
BCG	生後5カ月～1歳未満	生後5～8カ月未満に1回
MR混合 (麻しん・風しん)	(1期) 生後12～24カ月まで (2期) 年長児相当 (就学前の1年間)	1期、2期ともに1回
水痘 (水ぼうそう)	生後12～36カ月未満 ※すでに罹患済みの場合は対象外	(初回) 生後12～15カ月未満に1回 (追加) 初回後6～12カ月あけて1回
おたふくかぜ (任意)	1歳以上 ※すでに罹患済みの場合は対象外	1歳以上で1～2回 ※町独自の助成により1～3歳までの初回1回のみ無料
日本脳炎	(1期) 生後6カ月～7歳6カ月未満 (2期) 9～13歳未満 ※特例対象者は20歳未満まで接種可	(1期初回) 3歳: 6～28日あけて2回 (1期追加) 4歳: 1期初回終了後約1年あけて1回 (2期) 9歳: 1回
HPV (ヒトパピローマウイルス) (9価)	小学校6年生～高校1年生相当の女子	中学1年生 (6カ月あけて2回) ※1回目の接種が15歳を超えた場合は3回 (2カ月以上あけて2回接種した後、1回目から6カ月以上あけて1回)

(※1) 令和6年3月31日までに接種を開始している方のみ対象。

【注意】四種混合ワクチンは、生産終了に伴い接種できなくなりました。接種機会を逃してしまった方は個別に健康推進グループにご相談ください。



保健の掲示板 11月

住民課 健康推進グループ ☎26-7871 (総合ケアセンターゆくり内)



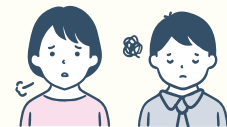
健診・検診・相談・教室など

乳児健診	5歳児健診
対 象 ①令和8年5月20日～令和8年8月18日生まれ ②令和7年11月20日～令和8年2月18日生まれ	対 象 年度内に5歳に到達するお子さん (年中児)
と き 11月18日 (水) ※個別に案内	と き 11月25日 (水) ※個別に案内
と ころ 総合ケアセンターゆくり	と ころ 総合福祉センター
持ち物 母子健康手帳、バスタオル、アンケート 歯ブラシ (②のみ)	持ち物 母子健康手帳、アンケート

こころの相談

心身ともに、こんな変化はありませんか？

- ・眠れない
- ・人の視線が気になる
- ・人に会いたくない
- ・以前よりイライラする
- ・何事にも集中できない
- ・日常生活に支障が出るほどお酒を飲む など



ストレスなどからくるこころの危険信号かもしれません。臨床心理士が、本人やご家族のこころの健康や子育ての悩みを抱える親御さんの相談に応じます。一人で抱え込まずに、ぜひご相談ください。

と き 10月16日 (金)、11月20日 (金)
10時～15時 (1人あたり50分程度)

と ころ 総合ケアセンターゆくり

申し込み 3日前までに健康推進グループに
お申し込みください。

保健所の相談

問い合わせ 苫小牧保健所 ☎0144-34-4168

相 談 ・ 検 査 の 名 称	日 程
女性の健康相談 妊娠、出産、子育てなど女性の心身の相談	第1木曜日 ※休日の場合は第2木曜日
肝炎ウィルス検査・梅毒検査 感染が疑われる方は無料 (要事前確認)	月2回
骨髄バンク登録 登録の基準があります	要事前予約 (随時受付)
HTLV-1抗体検査 10日前までに予約してください	要事前予約 (随時受付)
HIV検査 (エイズ相談) 無料、匿名検査 (要事前確認)	月2回
エイズ専用電話 ☎0144-35-7474	

11月の夜間・日曜・祝日の医療機関

内科・小児科系		外科系		診療時間: 9時～17時	
苫小牧市夜間休日急病センター	日 程	病 院 名	住 所 (苫小牧市)	電話 (0144)	
住 所 苫小牧市旭町2-9-2	1日 (日)	とまこまい脳神経外科	光洋町1-12-20	75-5111	
電 話 0144-32-0099	3日 (火祝)	勤医協苫小牧病院	見山町1-8-23	72-3151	
	8日 (日)	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	36-1221	
平 日 19時～翌朝7時	15日 (日)	苫小牧日翔病院	矢代町2-9-13	72-7000	
診療時間 土 曜 日 14時～翌朝7時	22日 (日)	光洋いきいきクリニック	光洋町1-16-16	71-2700	
日曜祝日 9時～翌朝7時	23日 (月祝)	こうよう泌尿器科クリニック	光洋町2-6-13	82-8620	
	29日 (日)	ケーアンドエークリニック	日新町2-6-1	71-2000	

※変更になる場合があります。病院や新聞などで事前に確認してください。



北海道救急医療・広域災害情報システム

近くの医療機関などが検索できます

<http://www.qq.pref.hokkaido.jp> ☎0120-20-8699 ☎011-221-8699 (携帯・PHSから)

子育て支援センター

11月のよてい

申し込み・問い合わせ・予約・相談

厚真子育て支援センター ☎27-2438 京町152(こども園つみきに併設)
厚南子育て支援センター ☎28-3155 上厚真258-7(宮の森こども園に併設)
※講座などの申し込みは会場となる子育て支援センターまで

子育て講座 フラワーアレンジメント

内容：お好みのお花を選んでアレンジを楽しみます。
日時：11月5日(木)10時～11時
場所：厚南子育て支援センター
参加費：1000円(材料費)
申し込み：10月29日(木)まで

子育て講座 親子スキンタッチ

内容：鍼灸師が伝えるスキンシップ健康法を教わります。
日時：11月17日(火)10時～11時
場所：厚真子育て支援センター
持ち物：バスタオル 申し込み：11月10日(火)まで

地域子育て相談機関(要予約)

月曜～金曜日 15時～17時
皆さんの子育てに
親身に寄り添いサポートします。

LINEで予約

こども園つみき(公立) 宮の森こども園(私立) 令和9年度 園児募集

認定について こども園を利用するには、支給認定の申請が必要です。
対象年齢は令和9年4月1日現在となり、認定区分で内容や利用時間が異なります。

教育	保育 ※保育の事由に該当する場合	
1号認定	2号認定	3号認定
満3歳以上	満3歳以上	生後6カ月以上満3歳未満
教育標準時間認定 教育時間：8時45分～13時	「保育の必要な事由」に要する時間が1日あたり8時間以上 保育標準時間認定 保育時間：7時30分～18時30分 「保育の必要な事由」に要する時間が1日あたり4時間以上8時間まで 保育短時間認定 保育時間：8時30分～16時30分、9時～17時	

保育の必要な事由と 保育の必要量について	保育の必要な事由	標準時間認定	短時間認定
右記の「保育の必要な事由」に保護者全員が該当すると認められる場合に、保育を受けることができます。事由により保育の必要量(利用できる時間)が判定されます。	①月に48時間以上の就労	○	○
	②妊娠・出産(期間に一定の制限があります)	○	
	③疾病・負傷・障がい有している	○	
	④同居の親族の介護・看護(長期間入院等を含む)	○	○
	⑤震災・風水害・火災その他の災害の復旧	○	
	⑥継続的な求職活動・起業の準備		○
	⑦就学・職業訓練等	○	○
	⑧児童虐待・DV	○	
	⑨育児休業中で、すでに保育を利用している子がいて継続利用が必要な場合(下の子が2歳になる月の末日まで)		○

募集期間 10月19日(月)から11月20日(金)まで
※支給認定証の交付および入園決定通知は12月下旬に送付する予定です。
※園児の面談および入園説明会などは入園決定後に各こども園で行います。
※令和8年度から継続して利用する場合の提出書類は各こども園から配布します。

提出書類 [新規入園園児] [継続利用園児]
①支給認定申請書兼こども園利用申込書 ①現況届
②就労証明書など(2号・3号認定) ②就労証明書など(2号・3号認定)
③アレルギーに関する調査票
・上記以外にも書類の提出が必要になる場合があります。
・必要書類はこども園でも配布しています。町ホームページからもダウンロードできます。※すべての書類がそろい次第、提出してください。

提出・問い合わせ 住民課 子育て支援グループ(総合ケアセンターゆくり内) ☎26-7872
※上厚真支所と各こども園でも申し込み書類を受け付けます。



町ホームページ



担当
保健師 かきざき ひとみ
柿崎 瞳

健康情報

住民課 健康推進グループ ☎26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

今月のテーマ

子宮頸がんを予防・早期発見しましょう

11月は子宮頸がんの予防啓発月間です。世界保健機関(WHO)の子宮頸がん撲滅活動の開始をきっかけに、毎年この時期に世界各地のランドマークが、テーマカラーのティールブルー(濃い青緑色)にライトアップされています。国内では、毎年約1万人を超える女性が新たに子宮頸がんと診断され、約3000人が亡くなっています。また、がんに罹患する人は近年、増加の一途をたどっていて、日本人の2人に1人はがんと診断されています。がんの予防と早期発見についてお伝えします。

「子宮頸がん」とは?

子宮頸がんは子宮の入口(頸部)にでき、特に20～30代の若い世代で急増しています。主な原因は、「ヒトパピローマウイルス(HPV)」の感染です。HPVは性交渉で誰もが感染しうるウイルスで、生涯で一度は感染するといわれています。多くは免疫によって自然に排除されますが、ウイルスが定着し続けると、がん化することがあります。

す。初期には自覚症状がほとんどありません。早期発見で治療がしやすく、予後が良いといわれています。発見が遅くなるほど心身の負担は大きく、妊娠や出産に影響し、最悪の場合は死に至ることもあります。気になる症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

子宮頸がんの予防 早期発見

〇がんの発症を防ぐために

さまざまな食品をバランス良く取ることを心掛け、1日30分程度の適度な運動を週に2～3回以上行い、禁煙、節酒、十分な睡眠を心掛けましょう。

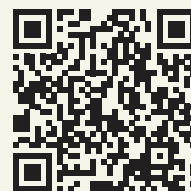
〇早期発見のために

2年に1度、がん検診を受けましょう。検診は、子宮頸部から採取した細胞を観察するもので、待ち時間を含め約30分～1時間程度です。検診時は、下衣を脱いで内診台に上がりますが、腹部からカーテン等で仕切られるので医師や看護師と顔を合わせることはありません。検査は、チックとしたわずかな痛みで、痛みを感じない方もいます。

乳がん・子宮がん検診の申し込みを受け付けています

詳細は町ホームページをご確認ください

検診日時：12月4日(金)
場所：総合福祉センター
申し込み締め切り：11月4日(水)まで



町ホームページ



案内チラシ



申し込みフォーム

※HPV感染予防のワクチン接種は、小学6年生から高校1年生の女子が対象です。(町では標準的な接種期間である中学1年生に個別案内を送付しています)

まちのアイドル

3歳のお子さんの写真を募集しています。
住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、両親の氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、まちづくり推進課企画調整グループへ。
(メール) kikaku@town.atsuma.lg.jp



こはるさん



えまさん

町税・保険料
今月の納期

科目	町 道 民 税 (第2期)	介 護 保 険 料 (第3期)
納期	11月2日(月)	

住民課税務グループ ☎26-7871
福祉グループ ☎26-7872
(総合ケアセンターゆくり内)

運転免許証
更新時講習

11月

苫小牧市民文化ホールで行っている
運転免許証更新時講習(優良)の日程
をお知らせします。その他の講習日
程(一般、違反、初回)については、
下記までお問い合わせください。

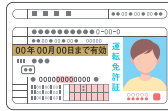
【10時30分～11時】

4日(水)、5日(木)、9日(月)、10日(火)
12日(木)、16日(月)、19日(木)、20日(金)
26日(木)、30日(月)

【13時30分～14時】

2日(月)、6日(金)、13日(金)、17日(火)
25日(水)

(一社) 苫小牧地区交通安全協会
☎0144-33-1458



まちの善意

社会福祉協議会への寄付

こぶしの湯 あつま
イベントカレンダー 11月

日	月	火	水	木	金	土
1 ちびっこ	2 [3倍]	3 メンズ	4 高齢者券	5 [2倍] レディース	6 [3倍]	7
8 ちびっこ	9 シルバー	10 休館日	11 高齢者券	12 [3倍] レディース	13 [2倍]	14
15 ちびっこ	16 [3倍]	17 メンズ	18 高齢者券	19 レディース	20	21
22 [3倍] ちびっこ	23 シルバー	24 メンズ	25 [2倍] 高齢者券	26 風呂の日	27	28
29 ちびっこ	30 シルバー					

【毎週日曜】ちびっこデー▷小学生はスタンプ2個

【毎週月曜】シルバーデー▷65歳以上はポイント3倍

【毎週火曜】メンズデー▷男性はスタンプ2個

【毎週水曜】高齢者無料入浴券の日▷町交付の無料券利用で
レストランのヘルシーセットが890円→700円

【毎週木曜】レディースデー▷女性はスタンプ2個

【毎月26日】風呂の日▷町民は入浴無料(要身分証明書)
※対象外の方はポイント3倍、スタンプ2個

【2と6のつく日】▷ポイント3倍(風呂の日を除く)

【5のつく日】▷町交付の無料券利用でポイント5倍

※イベントは予告なく変更することがあります。

問い合わせ こぶしの湯あつま ☎26-7126

15時30分
10月25日(日) 13時30分

■日時

北海道障害者職業能力
開発校見学会

11、内線3533)

(011-709-23

北海道労働局最低賃金係

■問い合わせ

時間額1131円

■北海道最低賃金

次のとおり改定されました。

用される北海道最低賃金が

人およびその使用者に適

学生さんなど働くすべての

パート、アルバイトの方、

すべての労働者(会社員、

北海道内の事業場で働く

■みんなチェック!

■最低賃金

■場所

北海道障害者職業能力開

発校(砂川市焼山60番地)

■対象

特別支援学校、高等学校

等の在校生(学年不問)およ

び保護者、教員、障がいの

ある求職者、障害者就労支

援機関の方

■申込方法

申し込みフォームにまた

は電話で申し込み

■申込締切

10月19日(月)

■問い合わせ・申し込み

北海道障害者職業能力開

発校訓練課 ☎

0125-52

12774



自衛官募集

自衛隊札幌地方協力本部苫小牧出張所
☎0144-32-3725

※受付期間は締切日必着
※試験日程が急に変更になる場合
があります。

■一般曹候補生

応募資格▷18歳以上33歳未満
(32歳は要連絡)

受付期間▷11月20日(金)まで
試験日程▷11月28日(土)～12月

6日(日)の1日
試験科目▷筆記試験(国語、数学、

英語、作文、適性検査)
■2等陸海空士任期制自衛官)

応募資格▷18歳以上33歳未満
(32歳は要連絡)

受付期間▷10月13日(火)～11月
5日(木)

試験日程▷筆記試験…11月10日
(火)または11日(水)／口述試験・

身体検査…11月15日(日)または
16日(月)

試験科目▷筆記試験(国語、数学、
社会、作文、適性検査)

■防衛大学校学生(一般)

応募資格▷令和9年4月1日現在
で18歳以上21歳未満

受付期間▷10月15日(木)まで
試験日程▷第1次試験…10月31

日(土)
試験科目▷筆記試験(理工学…英

語、数学、理科／人文・社会科学…
国語、英語、数学、社会

■高等工科大学校生徒(一般)

応募資格▷令和9年4月1日現在
で15歳以上17歳未満

受付期間▷令和9年1月14日(木)
まで

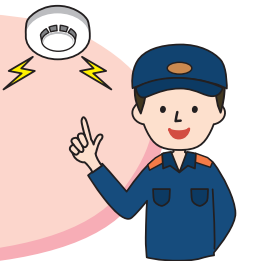
試験日程▷第1次試験…令和9年
1月23日(土)または24日(日)

試験科目▷筆記試験(国語、社会、
数学、理科、英語)

住宅用火災警報器を設置しましょう

住宅用火災警報器の設置は、消防法で義務づけられています。町内の設置率は
8月末時点で全世帯数の93%です。胆振東部消防組合消防署厚真支署は、未
設置の住宅への普及・促進の取り組みとして、厚真町に居住する65歳以上の
みの世帯を対象に、住宅用火災警報器取付費用給付事業を実施しています。

問い合わせ 胆振東部消防組合消防署厚真支署 ☎26-7119



地震で起きやすい火災

大規模な地震や雷雨などによって、停電する
ことがあります。場合によっては、復旧後の通電
で、損傷した電気製品や配線などから出火する
「通電火災」になることもあり、注意が必要です。
平成23年3月11日の東日本大震災で発生した

火災のうち、特定された原因の過半数を「通電
火災」が占めていました。地震発生後は、特に
注意が必要です。電気コードに破損や異常がな
いかなどを点検し、避難する場合は可能な範囲
でブレーカーのスイッチを切るように心掛けて
ください。

いっぽ
IPPOカフェ
参加者募集

誰かの「一歩」を応援する取り組みです



まちづくり推進課 政策推進グループ
☎27-3179

「IPPOカフェ」は厚真町のチャレンジを応援する文化を町全体
で育てたいという思いを実現するための取り組みとしてスタート
しました。

厚真町内の方々が参加し、「やりたい!」「やってみたい!」をコー
ヒーやお茶を片手にゆったり語り合う場です。

堅苦しい場ではありません。自由に話せる場としてご活用いた
だけます。

自分の「好き」や「得意」を活かして何かを始めたい方はぜひお気軽
にご参加ください。

場 所 コミュニティスペースイチカラ
(旧吉岡ふとん店)

参加費 無料

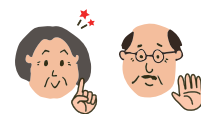
日 時 希望する日程を調整します

参加を希望の方はまずは申し込みフォームから
必要事項をお知らせください。

その後、事務局より連絡させていただきます。



申し込みフォーム



いきいきサポートサロンに参加しませんか?



いきいきサポートサロンは、65歳以上の皆さんの健康増進・介護予防・生きがい活動を行う場所です。
バスの待ち合いや、ちょっと寄って知人とお話したい時など、自由に利用できます。

月間予定表を見て、参加してみたい活動等がありましたら、お気軽にお越しください。趣味のサ
ークルで利用を希望の方もご連絡ください。また、65歳以下の方もボランティアとして共に活動し
ませんか? 人生の先輩から知恵と技術が学べます。

11月
のよ
てい

月	火	水	木	金
2	3	4	5	6
9	10	11	12	13
16	17	18	19	20
23	24	25	26	27
30				

月・木 介護予防体操(10時～11時) ストレッチ、有酸素運動、脳トレ
担当: 高橋/村上/山崎/菅/梶原

火 介護予防体操(10時～11時) 椅子ヨガなど
担当: 板垣/藤井

水 趣味の活動(13時～15時)

金 ババカフェ(10時～15時) 高齢者の皆さん主催のカフェ

厚真町いきいきサポートサロン
京町34 ☎29-7535

開放時間▷月曜～金曜日 9時30分～17時
無料水分補給カフェコーナー▷月曜～木曜日 9時30分～15時

海上自衛隊や船会社、税理士と異色の経歴をもち、6月からとまこまい広域農協購買部機械燃料課の厚真農機車両センターで働き始めました。先輩の仕事ぶりから技術を学び、刈り払い機など小型機械のメンテナンス業務に取り組んでいます。「農家さんに頼ってもらえる存在でありたい」。勤務先を訪ね、話を聞きました。



とまこまい広域農協厚真農機車両センター
Vol.78 ひろせ ふみあき
廣瀬 文昭さん

“優しい先輩に学び“縁の下の力持ち”に”

大阪府吹田市の出身で、香川県の大学を卒業して海上自衛隊に入隊。佐世保基地に配属され、約4年間、護衛艦で戦闘情報などを収集する任務に就きました。「たまたま職探しで自衛隊地方協力本部を訪ねた時、丁寧に教えてくれたのが海上自衛隊の方でした。話を聞くうちに興味湧き、試験を受けました」と懐かしみました。緊迫した状況には遭遇しませんでした、非常招集され南シナ海への緊急出航、半年にわたり海賊船から民間タンカーを守るイエメン共和国・アデン湾での護衛なども経験しました。

その後、水先案内人の仕事を知り、下関市に拠点を置く船舶会社に就職して国家資格の取得を目指しました。しかし、3カ月海に出て1カ月休みという生活で、資格取得への情熱は次第

にトーンダウン。「大学時代に学んだ経営学を活かすため、陸上の仕事に就こう」と大学院（法学部）に進学し、2年かけて税理士の資格を取りました。農家の経理や税務などを通じて農業が身近になり、就職フェアでできた縁から、厚真で働くことになりました。「5月に引越、あっという間に時間が過ぎます。毎日が楽しいです」。

趣味は料理と読書。解剖学者で大ベストセラー作家の養老孟司さんに刺激を受けています。計算どおりにならないのが人生で、自分を見つめ自然の流れに身を解き放つことを意識しています。澄んだ空気、ゆったり感じる夜の厚真の景色が、日々心を磨きます。

「優しいさに包まれた恵まれた職場。誰からも頼られる職業人になるのが、今の目標です」